



**ゴミゼロ運動の
始まりについで**

日本が高度経済成長を迎えた昭和40年代、生活もどんどん豊かになり、自動車やバイクによって郊外へ家族でドライブに出かけるなどレジャーに時間とお金を費やすようになりました。

愛知県豊橋市にある石巻山や葦毛湿原などがある東部丘陵地帯にも、自然歩道が整備されました。そのおかげで多くの人々がこの地を訪れ、自然歩道を散策し、楽しい一日を過ごしていったのはいいものの、観光客が帰った後には決まって大量のごみが残され、あつという間に山はごみであふれるようになってしまいました。

この悲しい現実を放置しておかず、豊橋市に530運動の推進を訴えたのが豊橋山岳会会長の夏目久男さんでした。

夏目さんは山岳登山の経験から「自分たちは自分で持ちかえるのは登山者のモラルであり、社会全般にも適用される」とし、郊外に限らず市内のいたるところに見られる散乱ごみの実情を全市民的に伝え、社会道德の高揚と住みよい美しいまちづくりをめざし、「自分のゴミは自分で持ちかえりましょう」を合言葉に530運動の推進を提唱しました。

豊橋市も夏目さんの熱心な訴えを受け止め、市制施行以来の全市民的な一大市民運動とすべく各団体に申し参加の要請や、清掃活動の実施を呼びかけ、昭和50年7月16日、市内43団体からなる官民一体の530運動推進連絡会が設立されました。

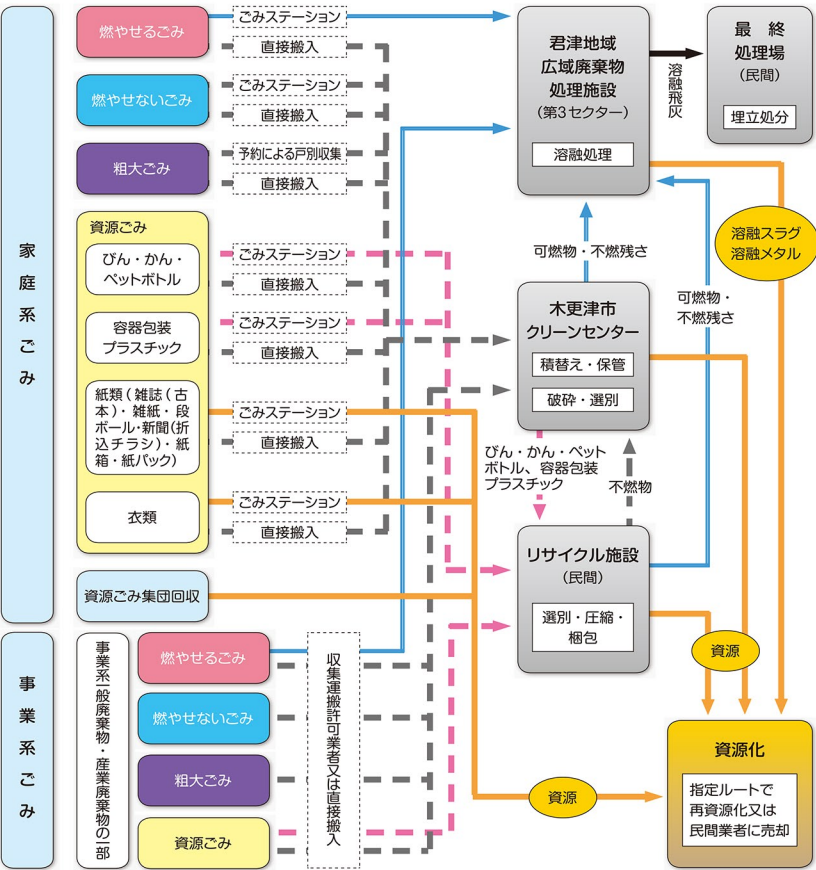
昭和50年11月11日（市民の日）には初の全市一斉の530運動実践活動が開催され、

各校区や町内、事業所、学校など147団体、約12万人が参加し、河川や道路、公園などの清掃が行われました。その後豊橋市では春と秋の年2回、5月30日のゴミゼロの日と、11月11日の市民の日を中心に全市一斉の530運動実践活動を行うようになり、年間10万人を超える市民が参加する一大イベントとなりました。

この運動が市外、県外、全国へも広がり、関東甲信越静岡の各都県では毎年5月30日に近い日曜日を「関東地方環境美化行動の日」に定めて、ゴミゼロ運動を実施しています。千葉県では昭和57年度から行われ、一斉収集活動には毎年約60万人が参加しています。

本来この運動は、「ゴミを捨てない」という精神運動が基本であり美しく住みよい環境づくりの原点であるとともに公衆道德の根元でもあります。環境に対する高い意識とモラルを持った未来人の育成こそ530運動の使命であります。

ごみ処理の流れ



医療系廃棄物(マスキングの捨て方について)

ごみの捨て方を守ることで、ご家族だけでなく、ごみを扱う人に対しても感染症拡大を防ぐようご協力をお願いします。

- ①ごみ箱にごみ袋をかぶせます。いっぱいになる前に早めに②のとおりごみ袋をしぼって封をしましょう。
- ②マスク等のごみに直接触れることがないようにしっかりとしぼります。
- ③ごみを捨てた後は石鹸を使って、流水で手をよく洗いましょう。

※万一、ごみが袋の外に触れた場合は、二重にごみ袋に入れてください。

**容器包装プラスチックに医療系廃棄物を
出さないでください!!**

医療系廃棄物は、感染症拡大防止のため、原則クリーンセンターでは処理ができません。ただし、ご家庭で使用した「マスク・ティッシュ・ゴム製手袋等」は、「燃やせるごみ専用」の袋に入れて排出ができます。

注射針や点滴袋など病院から処分されたものは、クリーンセンターでは処理ができませんので、処方した病院で処理をお願いしてください。

素材がプラスチックのものであっても、医療系の目的で使用したものは容器包装プラスチックには排出できませんので、ご注意ください。

木更津市クリーンセンター
木更津市潮浜3-1
☎0438-36-1133

君津市清掃工場
君津市三浦1552-35
☎0439-52-5353

富津市環境センター
富津市桜井8-1
☎0439-37-2020

袖ヶ浦クリーンセンター
袖ヶ浦市長浦580-5
☎0438-63-1881

詳しいゴミの分別や出し方等については、お住いの市役所まで問合せください。